



## 速くて操作性の良い車両

同志社大学フォーミュラプロジェクト  
Doshisha University Formula Project  
<http://dufp.net>



### 今回の総合結果・部門賞

- ICV総合優秀賞3位 ●総合3位
- 日本自動車工業会会長賞 ●コスト賞1位

### Profile チーム紹介・今までの活動

同志社大学フォーミュラプロジェクトは2002年に結成され、第1回大会から参戦しているチームです。メンバーは学部1～3回生で構成されており、個々の経験は浅く、技術力もまだまだ高いとはいえません。ですが多くの皆様の支援のもと、チーム一丸となって優勝をめざし、日々活動しています。

### Team-member チームメンバー

#### 池下 義人 (CP)

千田 二郎 (FA)、藤井 透 (FA)、田中 達也 (FA)、新野 寛人、斉藤 光信、田中 隆太、麻生 海、伊藤 康成、山岸 龍明、林 豊、長村 弘一、神部 尚紀、福嶋 雄大、岩本 誠也、中澤 優、久保 智洋、西田 真也、新田 真也、於本 裕之介、安東 良祐、森 純平、本川 勇哉、西脇 佑太、岡田 知大、吉永 大輝、宇高 希、JIN YUKAI、阿瀬 有佑美、城戸 咲乃、三浦 一朗、森下 祐、田中 達也、月本 啓太

### Sponsors スポンサーリスト

川崎重工業、堀場製作所、ヒロミツ製作所、鬼頭歯車、日信工業、和光ケミカル、ソリッドワークスジャパン、ヤンマー、エクセディ、サンスター技研、ミスミ、NTN、NOK、やまと興行、THK、F.C.C.、RSワタナベ、ティアド、レノボジャパン、プロト、RSタイチ京都店、GS ユアサ、ファロージャパン、エーモン、住友電装、丸三自動車商会、アンダーレ、協和工業、江沼チエン製作所、サム・ジャパン、ジェイテクト、キノクニエンタープライズ、MathWorks Japan、T2Racing、大東ラジエーター、ダウ化工、三和メッキ興業、VI-grade、深井製作所、アルテアエンジニアリング、RAC、スポーツランド生駒、アンシス・ジャパン、ダイハツ工業、京都サンダーホルト、日鐵住金溶接工業、富士精密、マイナビ、T's factory、RSタイチ、竹の高度利用研究センター、同志社エンタープライズ

## Presentation プレゼンテーション

マシン名: **DF14**

同志社大学フォーミュラプロジェクトは、伝統のコンセプトである「速くて操作性の良い車両」を引き継ぎ、限界性能の向上とその性能を生かすための操作性を考慮して、DF14の設計・開発を行ってきました。速さとは何なのか、操作性の良さとは何なのかを改めて考え、さらに昨年度の反省とベンチマークから「低速コーナーでの旋回性向上」をサブコンセプトに掲げ、「低回転域でのトルクの向上」や「低速での操作性の向上」などの各班コンセプトに合わせた設計を行い、歴代最速の車両を目標としました。また、1年間を通して車両に大きな問題が生じないように信頼性の確保を徹底して行うことで、大会期間中には一切の不安要素を持ち込まない車両とすることができました。

当然、車両製作及び走行でさまざまな問題が生じましたが、余裕を持ったスケジュール管理と全員が自ら積極的に活動に取り組むことでそれらを解決していく事ができました。それも同志社大学フォーミュラプロジェクトの強みと言えると思います。その結果、DF14は昨年以上の仕上がりとになり、大会に臨むことができました。

## Participation report 参戦レポート

今年度は昨年の問題点を改善し、成功点はより良くしていくことを心がけ、総合優勝を目標に活動をしてきました。昨年以上に全体のスケジュール管理を徹底し、静的審査の対策に早くから取り組むことが可能となりました。また、突発的な問題にも対応することができました。さらに、昨年度の反省点のひとつを改善するためにドライバー育成に力を注ぎました。

その結果は、残念ながら総合3位という結果となってしまいましたが、一昨年、昨年に引き続き、安定して3位を獲得できたことはチームとしての実力が着実についてきたと、大きな自信になりました。

静的審査と動的審査のうち、まず静的審査においては好成績を修めることができました。コスト審査は昨年同様1位、デザイン審査では昨年よりも順位をひとつ上げ4位を獲得することができました。ですが、プレゼンテーション審査は昨年より順位を大きく落とし12位となってしまいました。そして、動的審査においては、昨年よりも順位を上げることはできましたが、静的審査ほど振るわず、まだまだ課題の残る結果となってしまいました。来年度大会は今年度大会の課題となった部分をしっかりと反省し改善していきたいと思えます。

最後にチームを応援、支援してくださったOB・OG、父兄、大学関係者の方々、スポンサーの方々にこの場を借りて御礼を申し上げます。